

# 大津企業景況調査報告書

(第72回)

平成28年 1月～ 3月期 実績

平成28年 4月～ 6月期 見通し

大津商工会議所

# 大津企業景況調査について

(平成28年1月～3月期)

## 1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

## 2. 調査企業

| 産 業 別 | 調査対象企業数 | 有効回答企業数 | 回 収 率 |
|-------|---------|---------|-------|
| 建 設 業 | 20社     | 15社     | 75.0% |
| 製 造 業 | 10社     | 8社      | 80.0% |
| 卸 売 業 | 10社     | 8社      | 80.0% |
| 小 売 業 | 30社     | 22社     | 73.3% |
| サービス業 | 30社     | 25社     | 83.3% |
| 合 計   | 100社    | 78社     | 78.0% |

## 3. 調査期間

調査対象期間は平成28年1月～3月とし、調査時点は平成28年3月1日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

## 景況感の改善は先送り

平成 28 年 1 月～3 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

### 全体

景況感は、全体の業況判断 DI（前年同期比）が▲10 前後で 1 年以上足踏み状態が続いている。前回に今四半期は DI が▲4 まで改善すると見込んでいたが、年初からの円高、株安の懸念から今回▲18 と前回並みとなった。3 か月後には改善すると改善時期が先送りされている。業種別では、中国経済の減速等による製造業、暖冬で冬物消費が鈍かったこと等の小売業、リフォーム受注が減少したこと等の建設業が悪化した。一方、サービス業は好転した。これはインバウンド（訪日外国人）消費の効果が宿泊業等に表れているためとみられる。

先行きの業況判断 DI は▲6 と 12 ポイント改善すると見込んでいる。業種別では、売上が落ち込むとみる建設業と消費者心理の冷え込みから小売業は悪化を見込んでいるが、製造業は前年比プラスを見込み、サービス業も改善を見込んでいる。卸売業は前年並みを見込んでいる。インバウンド消費も引き続き期待されているものとみられる。

#### □ 業況判断 DI（前年同期比）は、景況感の改善は先送り

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、年初からの円高、株安の懸念から今回▲18 と前回並みとなった。今回改善する見込みが 3 か月後に先送りされている。業種別では、中国経済の減速等による製造業、暖冬で冬物消費が鈍かったこと等の小売業、リフォーム受注が減少したこと等の建設業が悪化した。一方、サービス業は好転した。これはインバウンド消費の効果が宿泊業等に表れているためとみられる。

#### □ 売上 DI（前年同期比）は、サービス業のみ前年を上回る

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」（「増加」－「減少」）は、前四半期の▲13 から今四半期は▲10 と前年比マイナスが続いている。業種別にみると、製造業は中国経済の減速の影響等で小売業では暖冬の影響等で落ち込んだが、サービス業は前年比プラスになった。

#### □ 採算 DI（前年同期比）は、前年比悪化。特に建設業と製造業で悪化

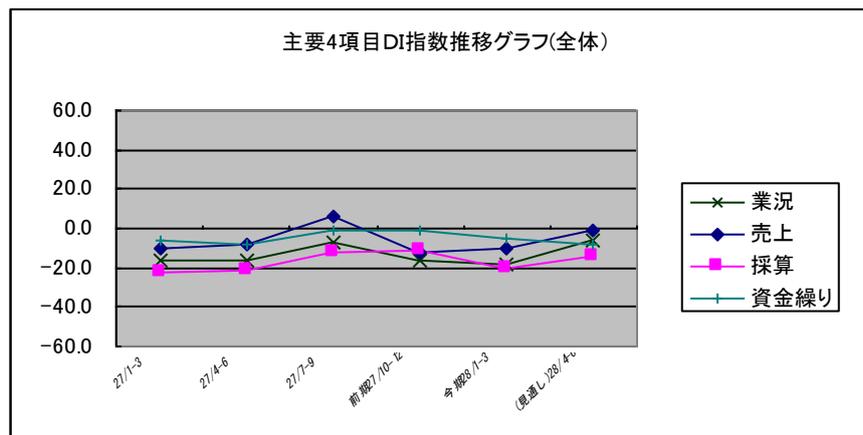
「前年同期比でみた採算（経常利益）DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期▲11 から今四半期▲21 と悪化した。業種別にみると、建設業では人手不足による労務費の上昇で、製造業は中国経済の減少等の影響等で稼働率が低下して悪化したとみられる。

#### □ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）は、前四半期からやや悪化

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期の▲1 から今四半期▲5 とやや悪化した。業種別にみると、卸売業とサービス業が悪化した。

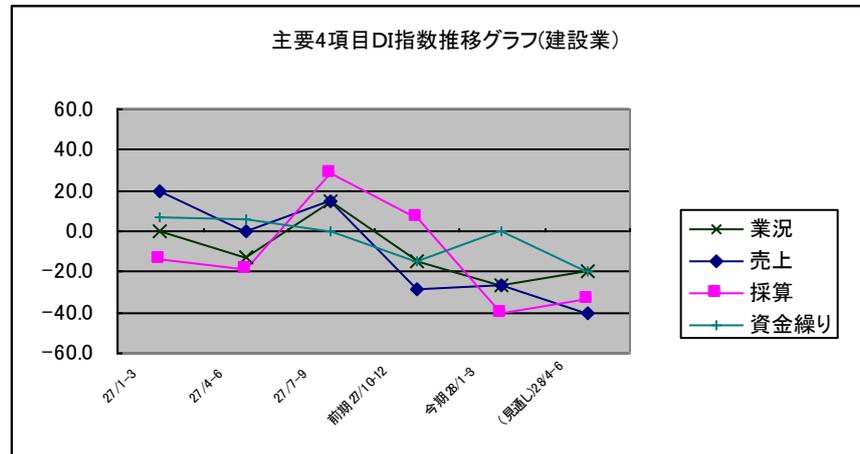
#### □ 従業員 DI（前年同期比）は、前年比人員不足がやや緩和。製造業はやや余剰になる

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」（「不足」－「過剰」）は、前四半期の+23 が今期+17 と人員不足感は緩和された。業種別にみると、製造業で人員がやや余剰になっている。これは、中国経済減速等の影響とみられ、他の業種でも人員不足感緩和されている。



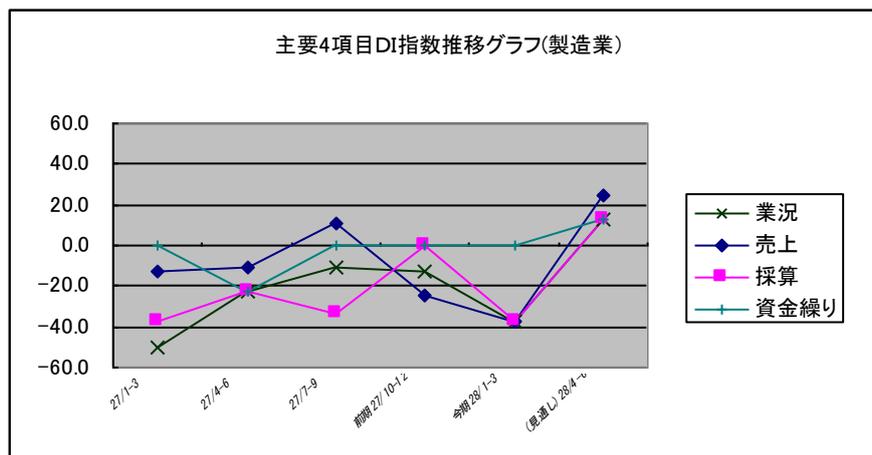
## 建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲14 が今四半期は▲27 と大幅悪化した。個別指標をみると「売上」が前四半期の▲29 から今四半期▲27 と減少が続き、「従業員」の不足感が+14 から+27 に高まり、「採算」が+7 から▲40 に悪化している。これは人員不足から労務費が上昇して採算が悪化したものと考えられる。



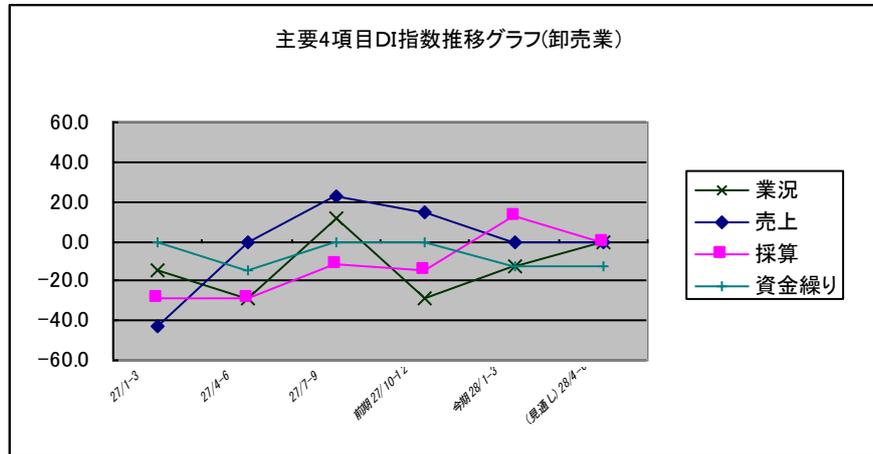
## 製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲13 から今四半期は▲38 と悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲25 から今四半期▲38 と減少し、「採算」も前四半期の±0 から今四半期▲38 と悪化している。これは中国経済減速の影響等によるものとみられる。仕事量の減少から「従業員」にやや過剰感が出ている。



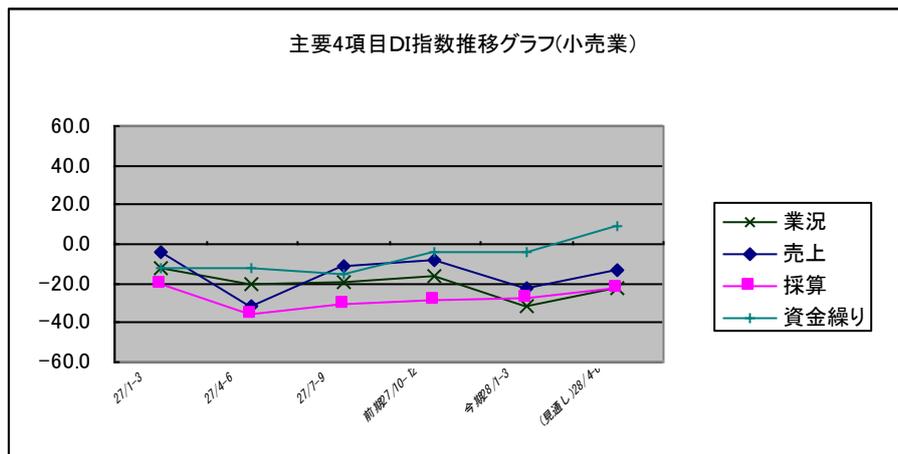
## 卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲29 から今四半期は▲13 とマイナス幅が縮小している。個別指標をみると「売上」は前四半期の+14 から今四半期は前年並みになり、「採算」も▲14 から+13 に良化した。一方、「従業員」の不足感は緩和した。



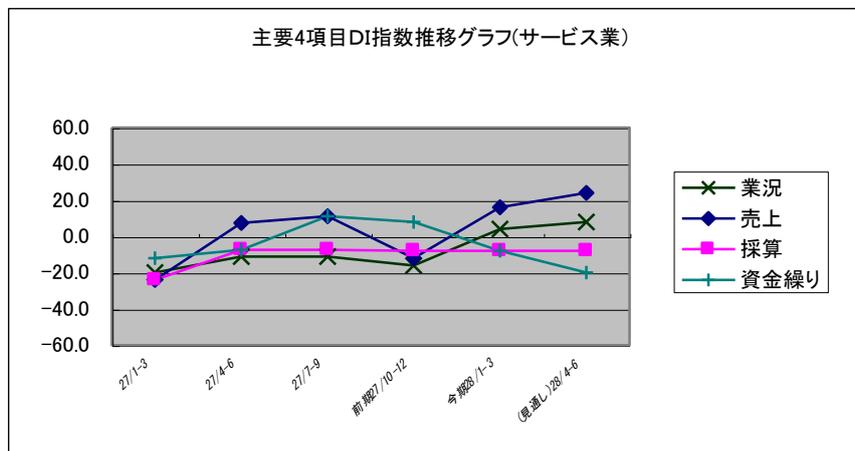
## 小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲16 から今四半期は▲32 と悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲8 から今四半期は▲23 と減少し、「採算」は横ばいである。「問い合わせ」は減少している。これは、暖冬で冬物消費が低調であったこと、年初からの円高、株安等で経済の先行き不安から消費者が消費行動に慎重になっていること等によるものと思われる。



## サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲16 から今四半期は+4 と好転した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲12 から今四半期は+16 と増加に転じ、「採算」は▲8 で横ばい。「従業員」は人員の不足が続いている。インバウンド消費の効果が表れているとみられる。



来四半期（3 ヶ月後）の「業況」DI は、今四半期の▲18 から▲6 と 12 ポイント改善すると見込んでいる。

個別指標をみると、「売上」が改善し「採算」もやや改善すると見込んでいる。業種別では、製造業は売上が大幅に増加し、採算も良化して業況が好転すると見込んでいる。サービス業もインバウンド消費等から引き続き売上の増加傾向が続いて業況が好転すると見込んでいる。卸売業は改善して業況が前年並みになると見込んでいる。一方、建設業は売上が減少して業況が悪化すると見込んでいる。小売業は、消費者の購買行動が慎重なことから業況の悪化が続くとみている。

3 ヶ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は全体で前四半期から 2 ポイント増加して 27% である。業種別にみると、製造業が最も高く 38%、サービス業が 32%、卸売業が 25%、他は 20% 程度であり、先行きの業況判断の高い業種ほど設備投資を多く計画している。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が 61% で最も多く、他は 10% 前後である。投資方針は、「計画通り」と「景気により計画を見直す」がともに 48% であり、更新投資が多い割には慎重な見方をしている。

田中マネジメント事務所  
MBA・中小企業診断士 田中清行

## (今の経済情勢に対する意見)

以下は、今の経済情勢に対する意見である。

- ・ 少子化、高齢化を見据えた計画を検討する時期になってきました。(製造業)
- ・ 気温、気圧によって食の消費ニーズが影響されるのと同じように、どうしようもない情勢、流れがある。しかし、その中でも「人」というキーワードで「難しく」なれば、「わかりやすい」ものが求められる。「早く」に対して「ゆっくりしていねい」時代にあわせて変化していきたいと思います。(小売業)
- ・ N E T 社会の為、小売悪化、工事への変換を徐々に実施。(小売業)
- ・ 先行不透明で、やはり夏の選挙後の動向に関心がある。地方にとっていい方向になるように期待している。(サービス業)
- ・ 冬期において、リフォーム受注の低下が目立つ。春に期待する。(建設業)

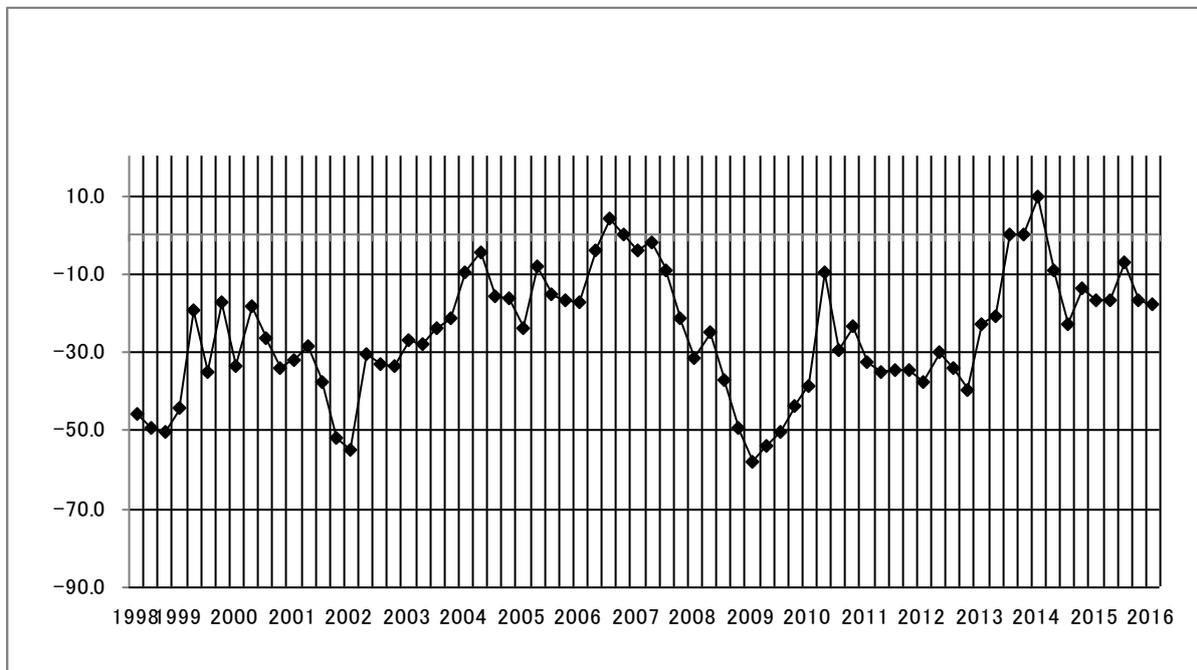
## DI 指数一覧表

|       | 業 況           |                 | 売 上 高         |                 | 採 算 (経常利益)    |                 |
|-------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
|       | 1-3 月期<br>動 向 | 4-6 月期<br>見 通 し | 1-3 月期<br>動 向 | 4-6 月期<br>見 通 し | 1-3 月期<br>動 向 | 4-6 月期<br>見 通 し |
| 全 体   | ▲17.9         | ▲6.4            | ▲10.3         | ▲1.3            | ▲20.5         | ▲14.1           |
| 建 設 業 | ▲26.7         | ▲20.0           | ▲26.7         | ▲40.0           | ▲40.0         | ▲33.3           |
| 製 造 業 | ▲37.5         | 12.5            | ▲37.5         | 25.0            | ▲37.5         | 12.5            |
| 卸 売 業 | ▲12.5         | 0.0             | 0.0           | 0.0             | 12.5          | 0.0             |
| 小 売 業 | ▲31.8         | ▲22.7           | ▲22.7         | ▲13.6           | ▲27.3         | ▲22.7           |
| サービス業 | 4.0           | 8.0             | 16.0          | 24.0            | ▲8.0          | ▲8.0            |
|       | 3ヶ月前との比較      |                 | 3ヶ月前との比較      |                 | 3ヶ月前との比較      |                 |

|       | 採算 (経常利益) の水準 |                 | 取引の問い合わせ      |                 | 従 業 員         |                 |
|-------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
|       | 1-3 月期<br>動 向 | 4-6 月期<br>見 通 し | 1-3 月期<br>動 向 | 4-6 月期<br>見 通 し | 1-3 月期<br>動 向 | 4-6 月期<br>見 通 し |
| 全 体   | 5.1           | 5.1             | ▲25.6         | ▲19.2           | 16.7          | 17.9            |
| 建 設 業 | 20.0          | ▲6.7            | ▲26.7         | ▲26.7           | 26.7          | 33.3            |
| 製 造 業 | 12.5          | 25.0            | 0.0           | 0.0             | ▲12.5         | 0.0             |
| 卸 売 業 | ▲12.5         | 12.5            | ▲37.5         | 0.0             | 25.0          | 25.0            |
| 小 売 業 | ▲18.2         | 0.0             | ▲31.8         | ▲31.8           | 18.2          | 9.1             |
| サービス業 | 20.0          | 8.0             | ▲24.0         | ▲16.0           | 16.0          | 20.0            |
|       | 3ヶ月前との比較      |                 | 3ヶ月前との比較      |                 | 3ヶ月前との比較      |                 |

|       | 資金繰り        |              | 長期資金借入難易度   |              | 短期資金借入難易度   |              |
|-------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
|       | 1-3月期<br>動向 | 4-6月期<br>見通し | 1-3月期<br>動向 | 4-6月期<br>見通し | 1-3月期<br>動向 | 4-6月期<br>見通し |
| 全体    | ▲5.1        | ▲7.7         | 3.8         | 5.1          | 3.8         | 7.7          |
| 建設業   | 0.0         | ▲20.0        | 0.0         | ▲6.7         | 0.0         | 0.0          |
| 製造業   | 0.0         | 12.5         | 12.5        | 12.5         | 12.5        | 12.5         |
| 卸売業   | ▲12.5       | ▲12.5        | 12.5        | 12.5         | 12.5        | 12.5         |
| 小売業   | ▲4.5        | 9.1          | 9.1         | 9.1          | 9.1         | 9.1          |
| サービス業 | ▲8.0        | ▲20.0        | ▲4.0        | 4.0          | ▲4.0        | 8.0          |
|       | 3ヶ月前との比較    |              | 3ヶ月前との比較    |              | 3ヶ月前との比較    |              |

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

## 大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

コラボしが 21 9 階

TEL : 0 7 7 - 5 1 1 - 1 5 0 0

FAX : 0 7 7 - 5 2 6 - 0 7 9 5

URL <http://www.otsucci.or.jp/>